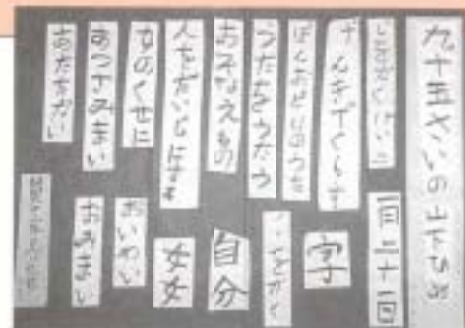


# 識字はみんなの宝

## Ⅱ南国市識字学級の取り組みⅡ



▲山下ひめさんの文字

90歳を過ぎて、初めて文字を書いた山下ひめさんの学習成果です。

□南国市識字学級の始まり

南国市には二つの同和地区があります。同和地区には、子どもどころ、差別による貧しさのため学校に行きたくても行けない人が多くいました。そのため、70歳を過ぎても読み書きができず、不自由な生活を送っていました。

そうした中でも、がんばって生きぬいてきた人々の中から、なんとかして今から勉強し、「字を覚えて選挙の投票を自筆で書きたい」「死ぬまでに一度でいいから子どもや孫に手紙を書きたい」という願いがはされました。この願いにこたえて1971（昭和46）年10月に野中識字学級が、1973（昭和48）年10月に前浜識字学級が開設されました。

さらに、1995（平成7）年5月には、「どうしても仕事で報告書を書かんといかんかった。文字を読むには何とか読めても、実際にはよう書かん。しかもワープロで書かないかんがよ、どうしよう」という訴えを受け、ワープロ学習を中心とした夜間識字学級が開設されています。

▲同和学習

差別の歴史、現状やこれからの課題などを学んでいます。

# 生きる喜び

◀ぞうり作り

長岡小学校2年生との交流会。差別の現実や差別をなくしたいという思い、願いを知ってもらう大切な場です。



識字について

識字とは、手紙を書いたり、新聞を読んだり、仕事をするなど、社会生活に必要な読み・書き・算の能力のことです。

国連では、1990（平成2）年を国際識字年として、「西暦2000年までにすべての人に文字を」を目標とし、世界各地でさまざまなレベルで取り進められています。



▲文字の学習

年賀状づくり、金封のおもて書き、習字などの日常生活に必要な学習をしています。

▼ワープロ学習（夜間識字学級）

社会生活の変化に対応する学習をしています。



▶カラオケで学ぶ

楽しく学ばなければ長続きしません。字を読む力も向上します。

▼ちぎり絵作品づくり

水墨画や折り紙などの紙工作などもしています。



▲識字文化祭での劇

学級生の思いやねがいを劇にして発表しました。

※識字学級などのお問い合わせは、同和教育課同和教育指導係（☎88016570）まで